



渡辺 通子 (公明党・代表質問)

SNSを活用した いじめゼロ施策を

問 28年度の全国のいじめの件数は過去最多となったが、本人以外の児童生徒からの情報でいじめが発覚する割合は低い。県でも電話相談窓口を開設しているが、近年の若年層は、交流手段にSNSを利用することが多い。SNSの一つであるLINEでのいじめ相談事業や、匿名でいじめを通報できるシステムを導入した自治体では、前年度を大幅に上回る相談が寄せられたと聞いている。市でも、SNSを活用したいじめの通報・相談システムを導入し、いじめの早期発見、重大事態の未然防止に努めるべきと考えるがどうか。

答 SNSを活用したいじめの通報・相談システムについては、導入した自治体等で相談件数が増加しているが、多数の相談にリアルタイムで長時間やり取りをするため、多くの人員配置が必要であるなどの課題もあり、国でも相談体制の構築に向けた検討を進めている。今後は、より手軽に市の相談窓口ホームページを利用できるように、QRコードを中学生の「スタンダードダイアリー」へ掲載するとともに、より具体的に相談内容を伝えられるよう、画像の添付機能を追加していく。また、国の検討状況などを踏まえ、研究していく。

その他の質問項目
①市長の政治姿勢(30年度当初予算案、JR宇都宮駅西口の再開発、大谷地域の観光と産業振興など)②広報つつのみやのコンビニでの配布③産後ケア事業の実施状況と今後の課題④乳がんの早期発見に向けた取り組み⑤タンDEM自転車を活用した障がい者支援



荒川 恒男 (共産党・代表質問)

市民の安全を第一に 自衛隊と協議を

問 佐賀県で陸上自衛隊のヘリコプターが民家に墜落する事故があった。北宇都宮駐屯地は、住宅密集地に囲まれているうえ、市の騒音測定による年間離発着回数は、事故のあった駐屯地の倍の2万5千回近くであり、夜間早朝飛行も年間約800回になる。今回の事故機と同型の機種もあり、よそ事と思えない。①事故を受け、どのような対応をしたのか。②住宅密集地上空での危険な夜間飛行の中止、飛行回数の削減など、北宇都宮駐屯地の訓練・運用のあり方について、市民の安全を守る立場から協議すべきではないか。

答 ①市では、防衛省自衛隊栃木地方協力本部長に対し、飛行点検の実施にあたっては市民の安全を図るため最大限の注意を払うなど、十分な安全対策を講じることを速やかに要望した。②市民が安心して快適に生活できるよう、これまでも夜間飛行への配慮や安全対策についても要望してきた。今後とも、騒音や安全対策に関する要望を継続的に行うとともに、災害支援の役割も担う自衛隊駐屯地との共存を図りながら、安全で快適に暮らせるまちづくりに努めていく。

その他の質問項目
①安倍政治と市長の政治姿勢②施政方針・30年度予算案と市長の政治姿勢③国民健康保険の都道府県営化のスタートにあたって④し尿くみ取り業務の合理化問題



佐々木 均 (愛うつのみや・代表質問)

新たな発想で市街地にさらなる賑わいを

問 市街地にある公園や低・未利用地の活用促進策について聞く。①向明児童公園に3×3バスケットボールのコートを設置することで、活気あふれる楽しかったまり場ができるかと考えるがどうか。②八幡山公園を人気スポットにするため、パークキュー施設を常備してはどうか。③松が峰地区の駐車場や道路を統合して生み出したスペースにクリスマスツリーを設置し、クリスマススマーケットを行うなど、新たな魅力を作り出してはどうか。

め、利用時間や利用マナーのルール作りなどを検討する必要がある。公園は再開発計画区域内にあり、活用については地域住民や準備組合などと検討を進めていく。②周辺への騒音・臭気対策などの課題や火器を使用するためのルールづくりなどを検討する必要があるが、パークキュー施設を含め、様々な公園の活用策を指定管理者と検討していく。③低・未利用地活用の具体的なモデル事業の実現に向け、民間事業者や地元商店街、関係団体などと連携し、取り組み内容や実施主体、官民の役割分担などを検討していく。

その他の質問項目
①子どもたちにたまり場を提供する必要性②泉町の再生③つつのみや花火大会に対する支援④オリオン市民広場の大規模改修工事



▲八幡山公園